

土木費

【一部新】土木総務事務費 994 万円 (前年度:791万円)

(担当: 建設課 事業調整係)

土木業務全般に必要な事務を行います。

- ・道路賠償責任保険料 30万円
- ・土木補助員委託料 168万円
- ・設計積算システム関係使用料等 51万円
- ・各種協議会等負担金 100万円
- ・共同利用型設計積算システム負担金 155万円
- 【新】カメラ搭載型ドローン購入等 138万円

財源

国庫支出金	3万円
市の負担額	991万円

【一部新】道路橋梁事務費 960 万円 (前年度:457万円)

(担当: 建設課 建設係)

新たに市道として認定した道路や、市道の拡幅、歩道整備などの改良を行った路線について、道路台帳の整備を行います。また、幹線道路網計画の更新に係る調査を行います。

- ・道路台帳の整備
 - ・新規認定路線作成
 - ・改良路線の修正
 - ・路線図のデジタル化

【新】幹線道路網計画調査業務委託

財源

市の負担額	960万円
-------	-------

道路補修費 4,129 万円 (前年度:3,701万円)

(担当: 建設課 建設係)

道路及び道路側溝等の修繕、街路樹の剪定や除草など、道路の維持管理を行います。

- ・市道滑川中央線排水ポンプオイル交換
- ・街路樹管理業務委託
- ・市道本江栗山線等除草業務委託
- ・路面補修及び防護柵補修
- ・道路工作物補修
- ・路面補修材の購入



舗装補修状況

財源

その他(道路占用料)	1,623万円
市の負担額	2,506万円

街灯維持費 1,998 万円 (前年度:1,998万円)

(担当: 建設課 建設係)

市が管理する街灯(電球、ポール、点滅器等)の維持管理を行います。

- ・電気料 1,658万円
- ・街灯修繕料 340万円

財源

市の負担額	1,998万円
-------	---------

除雪対策事業費 **4,829 万円**

(前年度:4,958万円)

(担当: 建設課 事業調整係)

除雪計画に基づき、市道の除雪や低温時には道路に凍結防止剤の散布などを行います。

- ・ 除雪作業委託料 3,830万円
- ・ 除雪車用装備品等 165万円
- ・ 燃料費 86万円
- ・ 除雪車両整備点検費 100万円
- ・ 除雪車両修繕費 250万円
- ・ 凍結防止剤 100万円



財源

市の負担額	4,829万円
-------	---------

消雪施設維持費 **1,588 万円**

1,588 万円

(前年度:1,378万円)

(担当: 建設課 建設係)

消雪施設の点検・清掃など施設の維持管理を行います。

- ・ 消雪施設電気料 910万円
- ・ 消雪施設点検清掃及び点検調整委託
- ・ 県消雪施設の市負担 107万円



財源

その他(地元等負担金)	57万円
市の負担額	1,531万円

消雪施設整備事業費 **320 万円**

320 万円

(前年度:550万円)

(担当: 建設課 建設係)

消雪施設のパイプの高圧洗浄やノズル・ドレン交換等を行います。

- ・ 消雪ポンプ更新工事
- ・ 消雪パイプ高圧洗浄業務委託
- ・ 消雪ノズル等交換
- ・ 漏水補修



財源

借入金	250万円
市の負担額	70万円

地域ぐるみ除雪機械導入助成費 **100 万円**

100 万円

(前年度:200万円)

(担当: 建設課 事業調整係)

除排雪組合(町内会)に対して小型除雪機械等の購入費用を助成します。

- ・ 小型除雪機購入費用補助



財源

市の負担額	100万円
-------	-------

土木費

道の駅管理運営費 123 万円

(前年度:123万円)

(担当: 建設課 事業調整係)

道の駅(ウェーブパークなめりかわ)のトイレ等の付帯施設の維持管理を行います。

- 道の駅清掃業務委託料 67万円
- 道の駅管理委託料 24万円
- 道の駅消耗品 9万円
- 道の駅施設修繕料 10万円

財源

市の負担額 123万円

道路施設整備費 2,500 万円

(前年度:1,000万円)

(担当: 建設課 建設係)

道路付属施設(街灯・標識)の点検結果に基づき、修繕を行います。また、路面性状調査に基づき、滑川中央線等の舗装修繕を行います。

- 道路付属施設調査点検
- 滑川中央線舗装修繕工事



財源

国庫支出金	1,250万円
借入金	1,120万円
市の負担額	130万円

【新】消雪施設改良事業費 3,000 万円

(前年度:-万円)

(担当: 建設課 建設係)

老朽化に伴い機能が低下している消雪施設を更新します。

- 消雪施設更新工事



財源

国県支出金	1,800万円
借入金	1,080万円
市の負担額	120万円

【新】橋梁長寿命化事業費 5,000 万円

(前年度:-万円)

(担当: 建設課 建設係)

計画的な修繕の実施により、橋梁の長寿命化と維持管理費の削減を図り、効率的な維持管理を行います。

- 橋梁補修設計
- 橋梁補修工事



財源

国県支出金	2,750万円
借入金	2,020万円
市の負担額	230万円

【一部新】交通安全施設整備費 5,308 万円
(前年度:1,290万円)

(担当: 建設課 建設係、生活環境課 生活安全係)

交通安全施設(道路標識、カーブミラー、道路区画線等)をはじめ、街灯の新設工事や転落防止用の防護柵設置工事を行います。また、町内会が設置した街灯に対して、補助金を交付します。

(建設課分)

- 街灯設置費、転落防止柵設置工事、横断防止柵取替工事 180万円
- 街灯設置費補助 100万円

【新】街灯LED化工事

【新】中川右岸安全施設設置工事

(生活環境課分)

- 道路の外側線・中央線等の引直し 450万円
- 市道(主要幹線道路)白線の引直し 490万円
- カーブミラー、警戒看板の修繕 60万円

財源

借入金	3,150万円
市の負担額	2,158万円

県道舗装改良負担金 500 万円
(前年度:500万円)

(担当: 建設課 事業調整係)

県において実施している道路改良・道路舗装・雪寒対策施設整備事業に必要な経費について、市が一部負担しています。



財源

市の負担額	500万円
-------	-------

中野島坪川線道路改良事業費 3,700 万円
(前年度:1,500万円)

(担当: 建設課 建設係)

歩行者と通行車両の安全確保を図るため、踏切整備に合わせて道路の拡幅を行います。

- 道路改良工事
- 用地買収
- 物件移転補償



財源

国県支出金	2,035万円
借入金	1,490万円
市の負担額	175万円

有金上島線道路改良事業費 2,500 万円
(前年度:3,500万円)

(担当: 建設課 建設係)

歩行者と通行車両の安全確保を図るため、歩道の整備を行います。

- 道路改良工事
- 物件移転補償



財源

国県支出金	1,375万円
借入金	1,010万円
市の負担額	115万円

土木費

有金下梅沢線道路改良事業費 2,000 万円 (前年度:1,500万円)

(担当: 建設課 建設係)

歩行者と通行車両の安全確保を図るため、歩道の整備を行います。

- 道路改良工事
- 用地買収



財源

国県支出金	1,000万円
借入金	900万円
市の負担額	100万円

菰原辰野線道路改良事業費 3,000 万円 (前年度:3,500万円)

(担当: 建設課 建設係)

歩行者と通行車両の安全確保を図るため、歩道の整備を行います。

- 歩道整備工事



財源

国県支出金	1,650万円
借入金	1,210万円
市の負担額	140万円

市道舗装費 1,000 万円 (前年度:800万円)

(担当: 建設課 建設係)

車両の通行に支障がないよう、また、町内会からの要望等に応じ市道の舗装整備を推進します。

- 柳原中村線



財源

市の負担額	1,000万円
-------	---------

河川管理費 742 万円 (前年度:242万円)

(担当: 建設課 建設係)

河川の除草や川底に溜まった泥を取り除く作業を行います。また、電動水門の電気料等の支出や水門の操作を委託しています。

- 除草、浚渫業務委託
- 水門、用水等管理委託
- その他維持管理業務（電気料）
- 【新】緊急浚渫推進事業（田中川他）

財源

借入金	500万円
市の負担額	242万円

駅前広場管理費 612 万円

(前年度:594万円)

(担当: 都市計画課 計画係)

滑川駅前、駅南広場及び中滑川駅前広場などに設置されている施設の維持管理を行います。

- ・電気料及び水道料（広場・公衆トイレ）
- ・消雪設備、滑川駅地下道エレベータ管理等点検業務
- ・公衆トイレ及び滑川駅地下道清掃業務



財源

その他（消雪装置負担金）	16万円
市の負担額	596万円

地籍調査費 246 万円

(前年度:710万円)

(担当: 都市計画課 計画係)

一筆ごとの土地の調査及び境界の確定を行い、その結果をまとめた地籍簿を作成します。

田中新町地内の約5haについて、一筆地調査及び境界の立ち合いを行い、その結果をまとめた地籍簿案の作成を行います。



財源

国県支出金	180万円
市の負担額	66万円

【一部新】都市計画事務費 793 万円

(前年度:697万円)

(担当: 都市計画課 計画係・建築住宅係)

都市計画に関する業務に必要な経費です。

【新】立地適正化計画策定業務

- ・審議会等開催経費 17万円
- ・各種リース料（庁用車等） 41万円
- ・共同利用型設計積算システム負担金 155万円
- ・屋外広告物禁止物件巡回パトロール 8万円



財源

国県支出金	253万円
市の負担額	540万円

【新】滑川駅南用地取得費 1,050 万円

(前年度:-万円)

(担当: 都市計画課 計画係)

土地開発基金で確保していた用地の引き取りを行います。

- ・あいの風とやま鉄道滑川駅南口付近用地



画像出典元：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」

財源

市の負担額	1,050万円
-------	---------

土木費

【一部新】中滑川複合施設管理運営費

3,006 万円
(前年度:2,430万円)

(担当: 商工企画課 商工業業係)

メリカの管理運営や施設管理に必要な設備の整備を行います。

・ 指定管理料 2,430万円

《指定管理者》(一社)ばいにゃこ村

【新】屋内広場からの出入口に風除室設置



【新】監視カメラ3台増設



【新】施設西側の市道に一方通行表示

【新】第一駐車場に車止め等設置



財源

市の負担額

3,006万円

東福寺野自然公園管理費 3,628 万円 (前年度:972万円)

(担当: 都市計画課 公園緑地係)

東福寺野自然公園の維持管理を行います。

・ 指定管理料
《指定管理者》 3,487万円
文化・スポーツ振興財団

・ 維持管理費用 141万円
公園施設の修理代など



財源

市の負担額

3,628万円

公園管理費

1億2,990 万円
(前年度:6,639万円)

(担当: 都市計画課 公園緑地係)

市内各公園施設などの維持管理を行います。

・ 維持管理費用 495万円
電気水道代、公園施設や遊具の修繕料等
・ 都市公園等の維持管理 1億2,397万円
運動公園野球場施設、滑川海浜公園の
指定管理費及び各公園の維持管理費、
公園施設の更新など

【新】スポーツ・健康の森公園
外走路・照明整備

・ 庁用車リース代など 41万円
・ 公園用資材費(砂、碎石など) 15万円
・ 遊具設置補助金 38万円
・ 各協会会費 4万円

財源

国県支出金

1,000万円

借入金

960万円

その他(施設使用料等)

73万円

その他(公共施設整備基金繰入金)

1,400万円

市の負担額

9,557万円

【一部新】まちづくりプロジェクト事業費

966 万円
(前年度:781万円)

(担当: 企画政策課 企画政策係)

旧北陸街道周辺の歴史的文化財の認知度を高めるとともに、文化財を活用したイベントや外部の人材を巻き込んだまちづくりを進め、市の交流人口・関係人口の増加を目指します。

〈旧北陸街道周辺の歴史や佇まいに萌える”たび人”を巻き込んだまちづくりプロジェクト〉

【新】国登録有形文化財の修繕 360万円
老朽化が著しい廣野家住宅・廣野医院を修繕する費用を補助します。

・歴史的文化財を活用したイベントの開催 34万円
歴史的文化財を会場とし、イベントを開催します。



・「いまはまだない仕事にやがてつく人たちの教室」の開講 200万円
まちづくりの機運醸成やプレーヤーの発掘等を目的とした教室とワークショップを専門の講師を招いて開講します。

・「ミライノミカタ」事業及び「なめりかわアンバサダー」認定制度の実施 372万円
県外に住むテレワーク従事者などに一定期間市内に滞在してもらい、滑川の課題や魅力を外部目線で発見し、課題の解決策等を提案してもらおう「ミライノミカタ（空き家等での居住体験を通じた課題発見事業）」を引き続き実施するため、参加者の滞在拠点として空き家や定住促進住宅の空き部屋を使ってもらいます。
また、テレワーク従事者などが、本市で地方創生に寄与する活動を行うことを希望した場合、「なめりかわアンバサダー」に認定し、活動拠点として空き家等を使ってもらおうとともに、滑川市までの交通費を支援します。



財源

国県支出金	483万円
市の負担額	483万円

土木費

【拡】まちなか居住推進事業費 500 万円 (前年度:500万円)

(担当: 企画政策課 企画政策係)

定住人口の増加と、魅力ある活気に満ちたまちづくりを推進するため、まちなか(=人口集中地区)区域以外に居住する方が、まちなかで住宅を取得・改修する際に補助金を交付します。

- まちなか住宅取得支援事業
補助率 金融機関等からの借入額の3/100
(限度額50万円)

【拡】まちなか住宅改修支援事業
まちなか区域以外に居住する方が、まちなかで空き家を取得した場合、その改修に必要な経費に対して補助金を交付する。
補助率 改修に係る経費の1/2
(限度額50万円)

《主な交付要件》

- ◎住戸専用面積 75㎡以上
- ◎3年以上継続して居住される方
- ◎取得に際し、金融機関等から借り入れている(取得の場合に限る。)

財源

市の負担額	500万円
-------	-------

空き家対策推進事業費 1,099 万円 (前年度:1,099万円)

(担当: 都市計画課 建築住宅係、企画政策課 企画政策係)

老朽化した危険な空き家の解体除却の推進や支援を行います。また、空き家等の適切な管理や活用の促進を図り、所有者等への助言や、必要に応じて緊急安全措置工事等を実施します。

- 特定空き家の解体工事(代執行) (1件) 300万円
- 危険な空き家の解体工事(寄附) (1件) 200万円
- 境界確定測量業務委託料(1件) 40万円
- 危険な空き家の解体費用の補助(5件) 350万円
- 空き家の解消を目的とした隣地統合に係る費用の補助(2件) 100万円
- 緊急安全措置工事(5件) 50万円
- 空き家セミナー、相談会開催 6万円
- 空き家バンクHP運営 15万円



財源

国県支出金	428万円
その他(回収費用)	50万円
市の負担額	621万円

緑化推進費 279 万円 (前年度:292万円)

(担当: 都市計画課 公園緑地係)

市内の緑化推進を図るために、各施設や花壇に花苗等の植栽を行います。

- 花苗代 168万円
(各地区へ花苗配布や花壇の花苗植栽など)
- フラワーポット等の維持管理費 48万円
- 球根及び花壇の材料代 35万円
(各小学校へチューリップ球根配布など)
- 花と緑の緑化推進事業補助金 20万円
- 水道使用料、切手代など 8万円



財源

その他(花と緑の銀行より)	111万円
市の負担額	168万円

ほたるいかプロムナード管理費 182 万円 (前年度:176万円)

(担当: 都市計画課 公園緑地係)

ほたるいかプロムナードの中央分離帯の植栽活動やポケットパークの維持管理を行います。

- 花苗及び肥料代
- ポケットパーク電気料
- 中央分離帯及びポケットパーク維持管理費



財源

市の負担額	182万円
-------	-------

下水道事業会計繰出金 5億7,881万円
(前年度:5億2,698万円)

(担当: 上下水道課 下水道総務係)

下水道事業会計において、使用料、受益者負担金(分担金)、国交付金、借入金などの収入で賄いきれない経費に充当するため、市の一般会計が資金の負担、補助及び出資を行います。

- 公共、特定環境保全公共下水道事業に対する負担金及び補助金
5億2,402万円
(収益的支出の減価償却費や企業債利息等に充当します。)
- 公共、特定環境保全公共下水道事業に対する出資金
5,479万円
(資本的支出の企業債元金償還金に充当します。)

財源

市の負担額 5億7,881万円

【一部新】市営住宅維持管理費 1,987万円
(前年度:1,300万円)

(担当: 都市計画課 建築住宅係)

市営住宅(荒俣住宅、シーサイドタウン有磯、浜町住宅、サンコーポラス上小泉2・3号棟)の維持管理を行います。

- 【新】指定管理料
《指定管理者》 株式会社ホクタテ 1,627万円
- シャワー設置工事 200万円
- ガス給湯器取替工事 100万円
- 火災保険料 36万円

財源

その他(市営住宅使用料など) 67万円
市の負担額 1,920万円

【一部新】定住促進住宅維持管理費 1,624万円
(前年度:1,187万円)

(担当: 都市計画課 建築住宅係)

定住促進住宅(吾妻、北野、サンコーポラス上小泉1・4号棟)の維持管理を行います。

- 【新】指定管理料
《指定管理者》 株式会社ホクタテ 1,418万円
- シャワー設置工事 160万円
- 火災保険料 28万円

財源

その他(定住促進住宅使用料・共益費) 1,624万円

木造住宅耐震改修支援事業費 220万円
(前年度:220万円)

(担当: 都市計画課 建築住宅係)

昭和56年5月31日以前に着工した木造一戸建住宅(2階建て以下)の耐震改修工事費用の一部を補助します。また、危険ブロック塀の撤去工事費用の一部を補助します。

- 耐震改修予定木造住宅(2戸) 200万円
耐震改修に要する費用の5分の4を助成します。(限度額100万円)
- 危険ブロック塀撤去(2件) 20万円
危険ブロック塀撤去に要する費用の3分の2を助成します。(限度額10万円)



財源

国県支出金 165万円
市の負担額 55万円